



橋北中学校だより

令和7年12月23日(火)

第9号 文責:奥田

津市立橋北中学校

ともに歩んだ日々の中で

一年で最も長い2学期が終わろうとしています。みなさんにとって、どんな日々だったでしょうか。ここで、今学期を少し振り返ってみましょう。

「コロナ禍」という言葉が過去のものとなりつつある今、学校や地域では、これまで通り多くの行事が行われました。学年や学級の横のつながり、そして学年を越えた縦のつながりを大切にしながら、全校でさまざまな行事や取組を進めてきました。その代表的な行事が文化祭です。

メインとなるコーラスコンクールに向けて、各学級では目標を定め、声を合わせて、精いっぱい取り組んでくれました。練習が思うように進まず、苦勞した学級も少なくなかったはずです。時には意見がぶつかり合うこともあったでしょう。そうした過程を経て生まれたハーモニーは、聴く人の心を動かす素晴らしいものでした。

総合文化センター大ホールで上級生の歌声を聴き、「来年は自分たちもあのステージへ!」と新たな目標を抱いた人も多かったのではないのでしょうか。本番だけでなく、日々の練習で廊下から聴こえてくる3年生の歌声に圧倒され、下級生は自分たちの取組を見つめ直すきっかけにもなったと思います。そんな3年生も、1年生の頃はうまくいかないことばかりでした。上級生の姿に憧れ、目標とすることで、大きく成長してきたのです。上級生の姿から学ぶことができた、意義深い活動となりました。

それはコーラスコンクールに限りません。文化祭のオープニングと2日目には、探究学習の発表も行われました。3年生は沖縄への修学旅行を通して学んだことを、自分たちの地域に引き寄せ、自ら立てた問いに対して調べ、考え、まとめ、課題解決に向けて行動を起こしてくれました。

また、2年生は上ノ村での稲作体験を通して地域の方々と関わり、上ノ村の現状や課題に触れてきました。その学びを自分たちの地域や町に照らし合わせ、課題に気づき、「自分たちに何ができるか」を考え、発表してくれました。探究学習を通して、橋北中学校が大切にしている「気づき・考え・行動する」姿勢を、見事に体現してくれました。

地域の一員として活動したのも、2学期の大きな特徴です。南立誠地区の花植え活動には多くの生徒が参加し、音楽の集いや津市のまちづくり行事では、吹奏楽部の部員たちが活躍してくれました。先日行われた「夢のことばコンクール」では、日々の生活の中で感じたことを自分自身と向き合いながら、強いメッセージとして発信してくれました。

一つ一つは小さな活動かもしれませんが、地域の皆さんに一生懸命な姿を見ていただき、元気を届けることができたと思います。これからも、地域に元気を与えられる橋北中学校であってほしいと願っています。

この他にも、さまざまな行事や活動を行ってきました。そのすべてに、気づきや考え、そして学びがありました。うまくいかなかったことの方が多かったかもしれませんが、だからこそ得られる学びがあります。その頑張りを大切に、誇りに思ってください。たくさんの輝く姿を見せてくれた2学期でした。みなさん、本当にありがとう。



令和7年も、まもなく締めくくりの時を迎えます。学年の途中ではありますが、節目の
時を大切にしましょう。この1年で何ができるようになったのか、何ができなかったのか
をしっかりと振り返り、新たな一歩を確実に踏み出していきましょう。

終業式で伝達を行った表彰について紹介します。今回は部活動以外のコンクール、コン
テストなどでの受賞がたくさんありました。おめでとうございます。